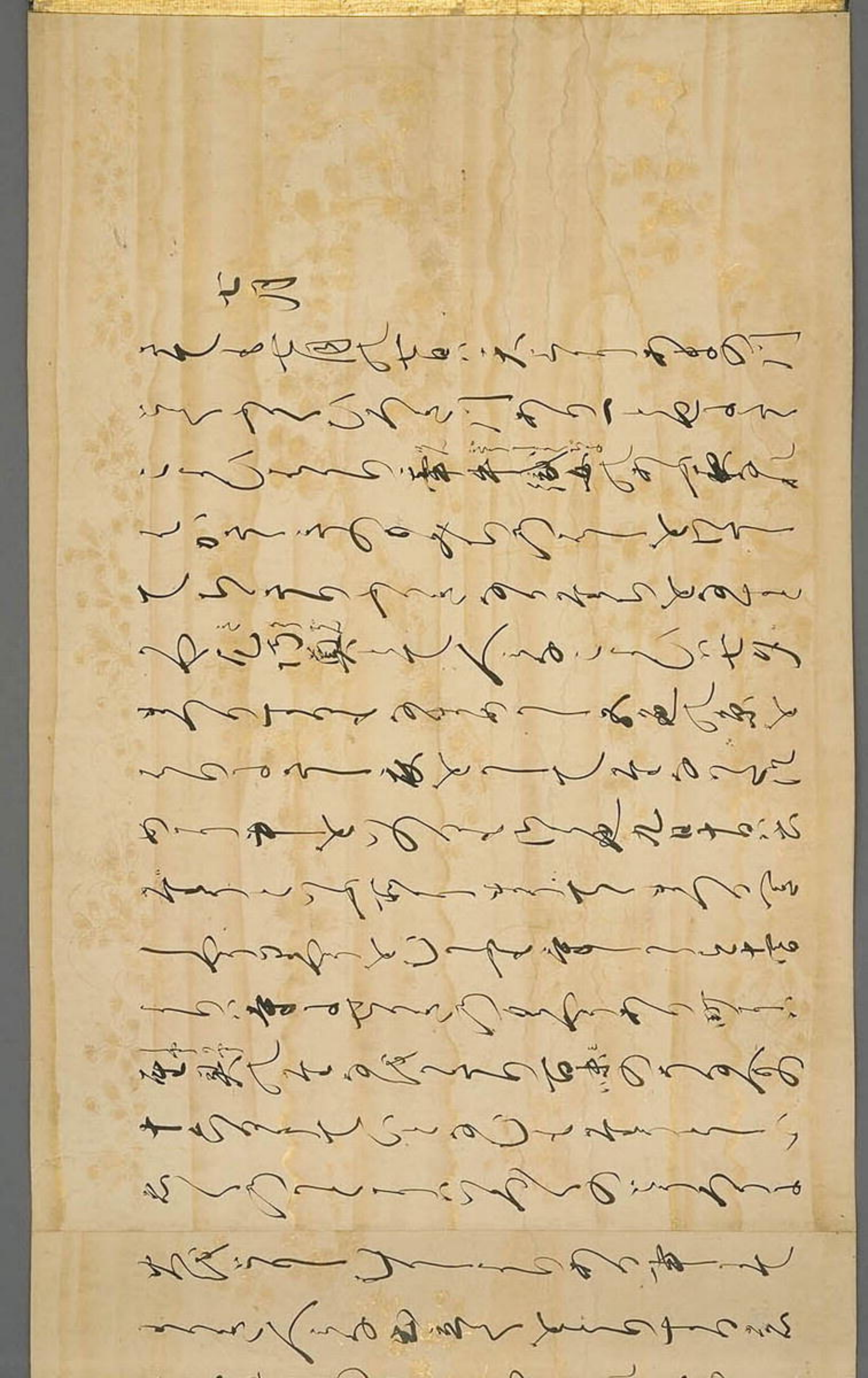
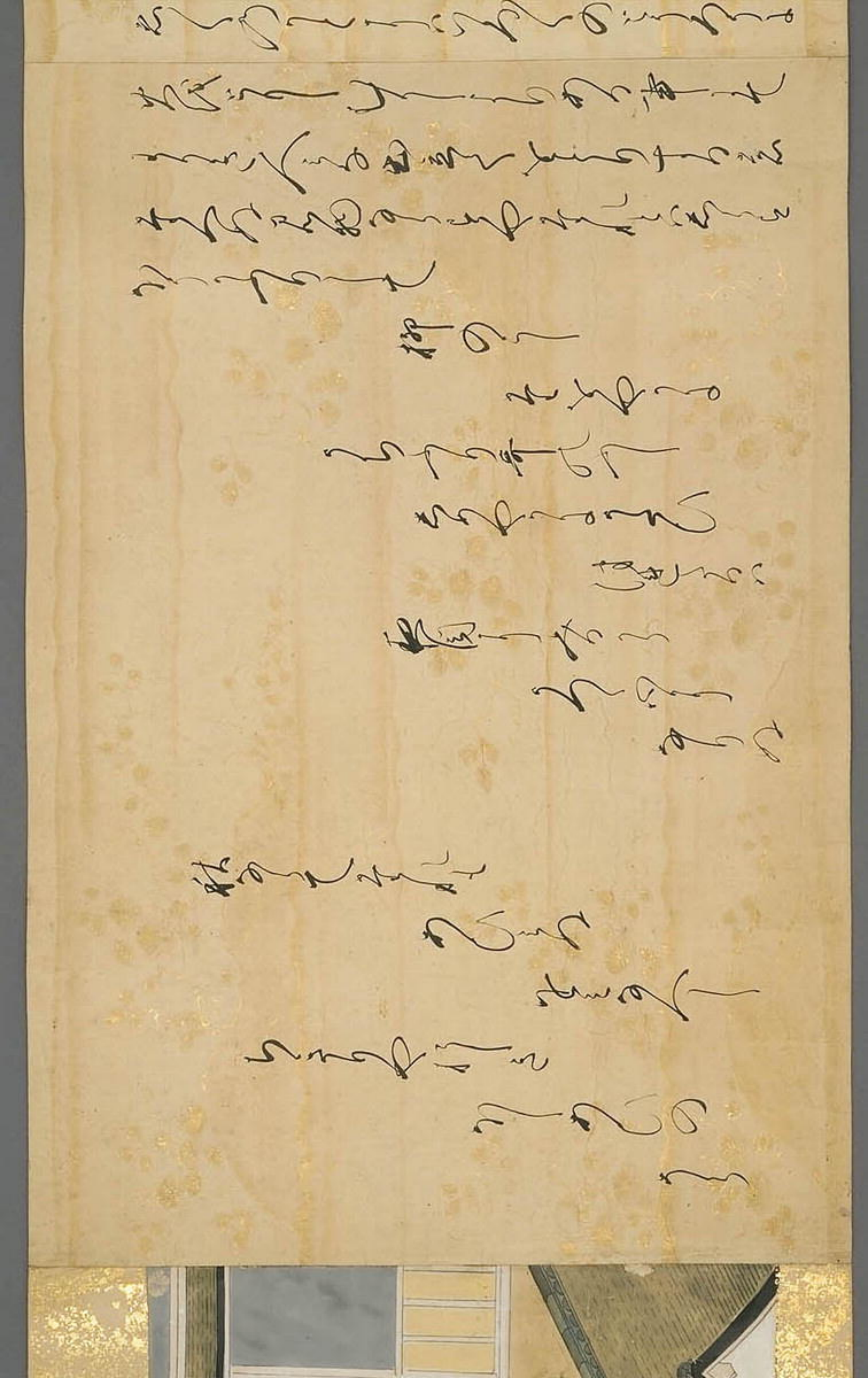
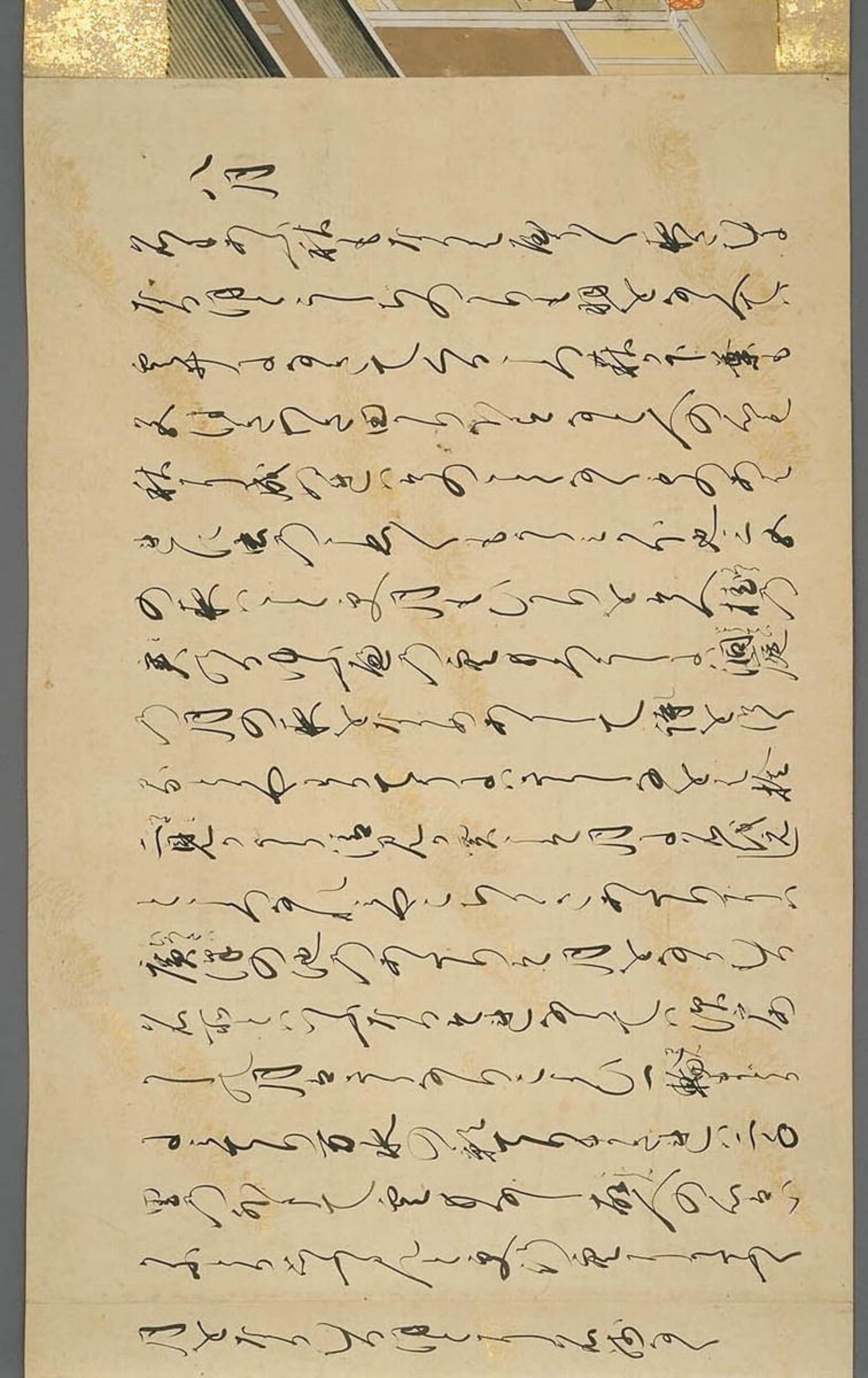
十二月梅

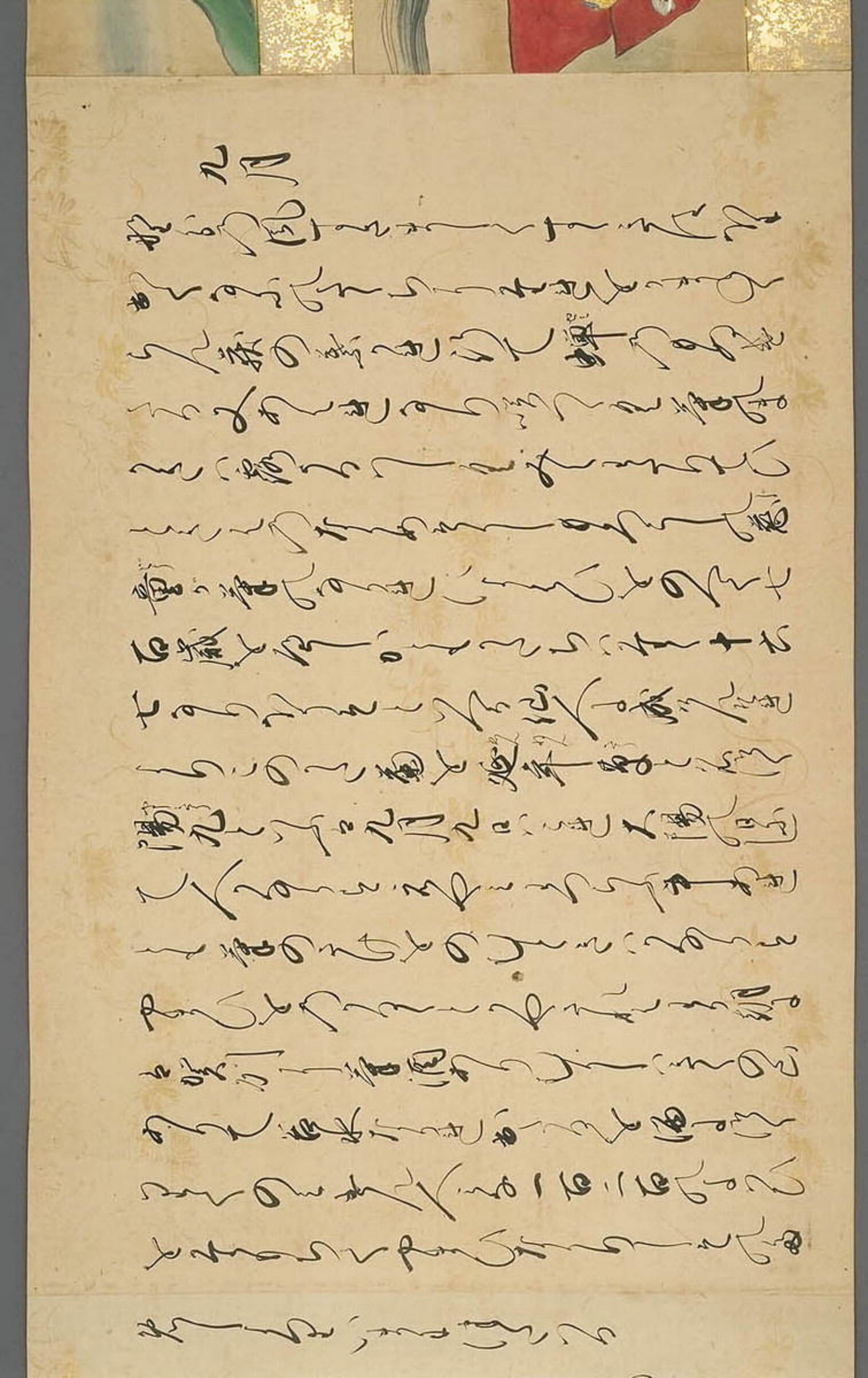
WA31
19
02wcB135

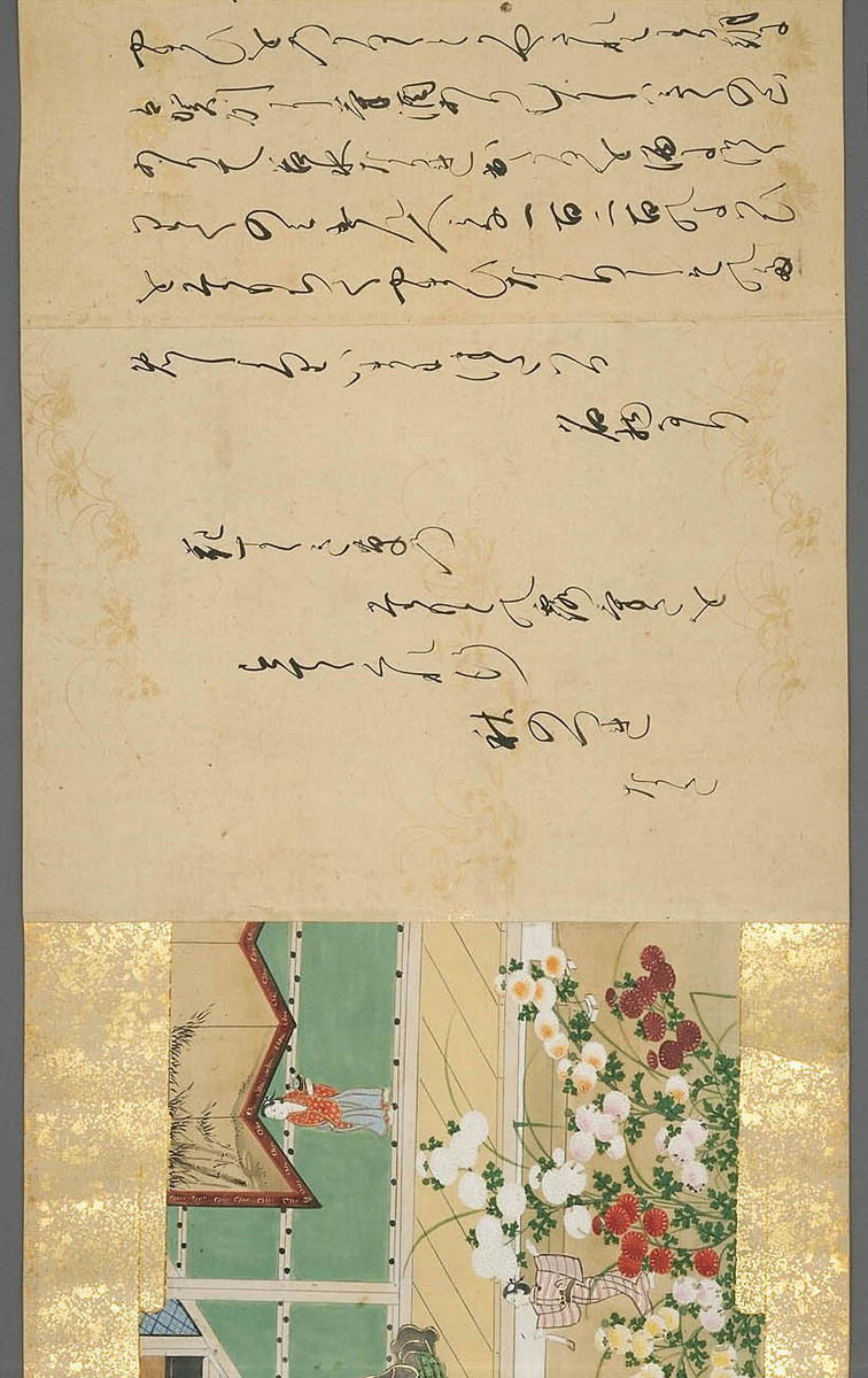




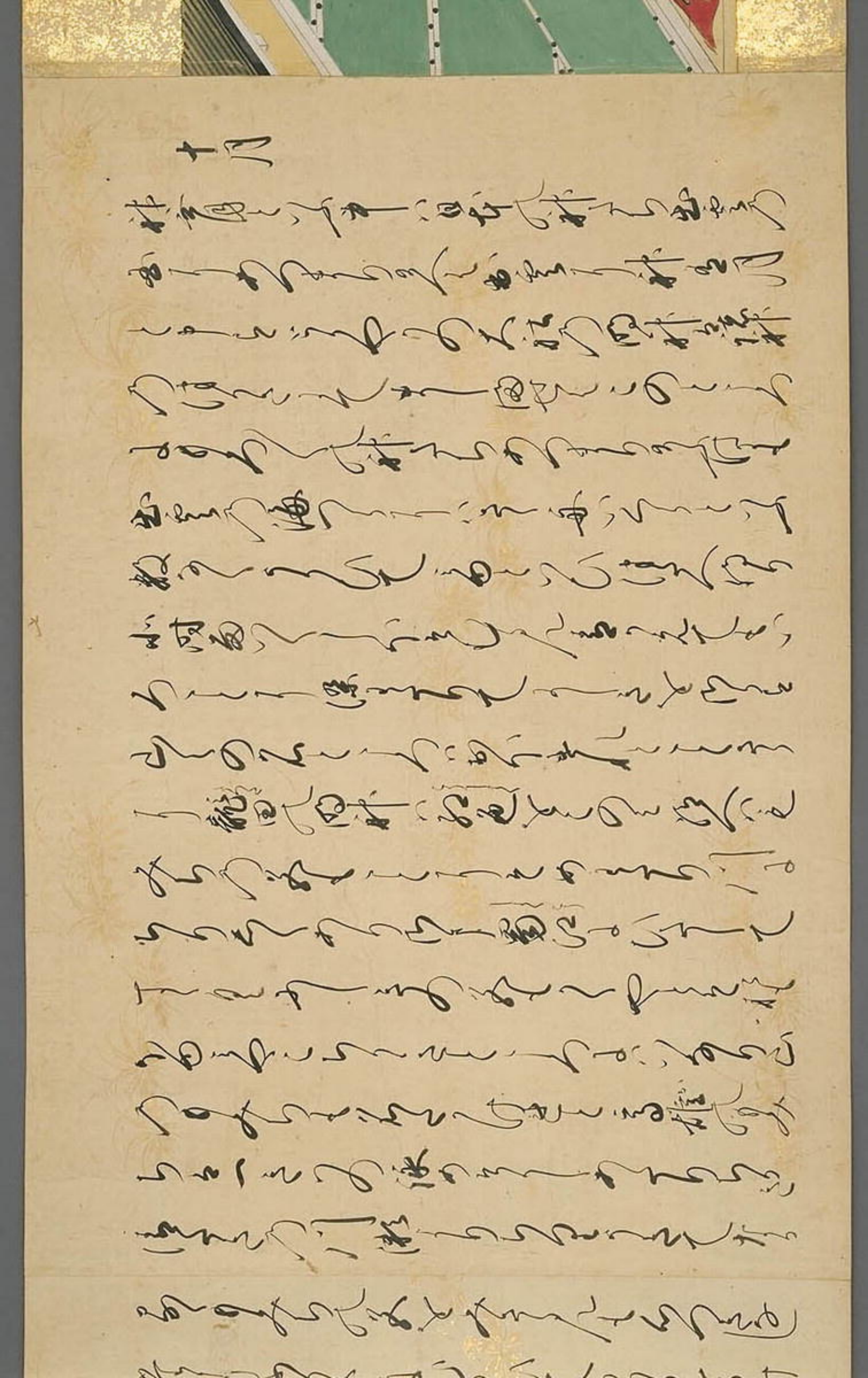


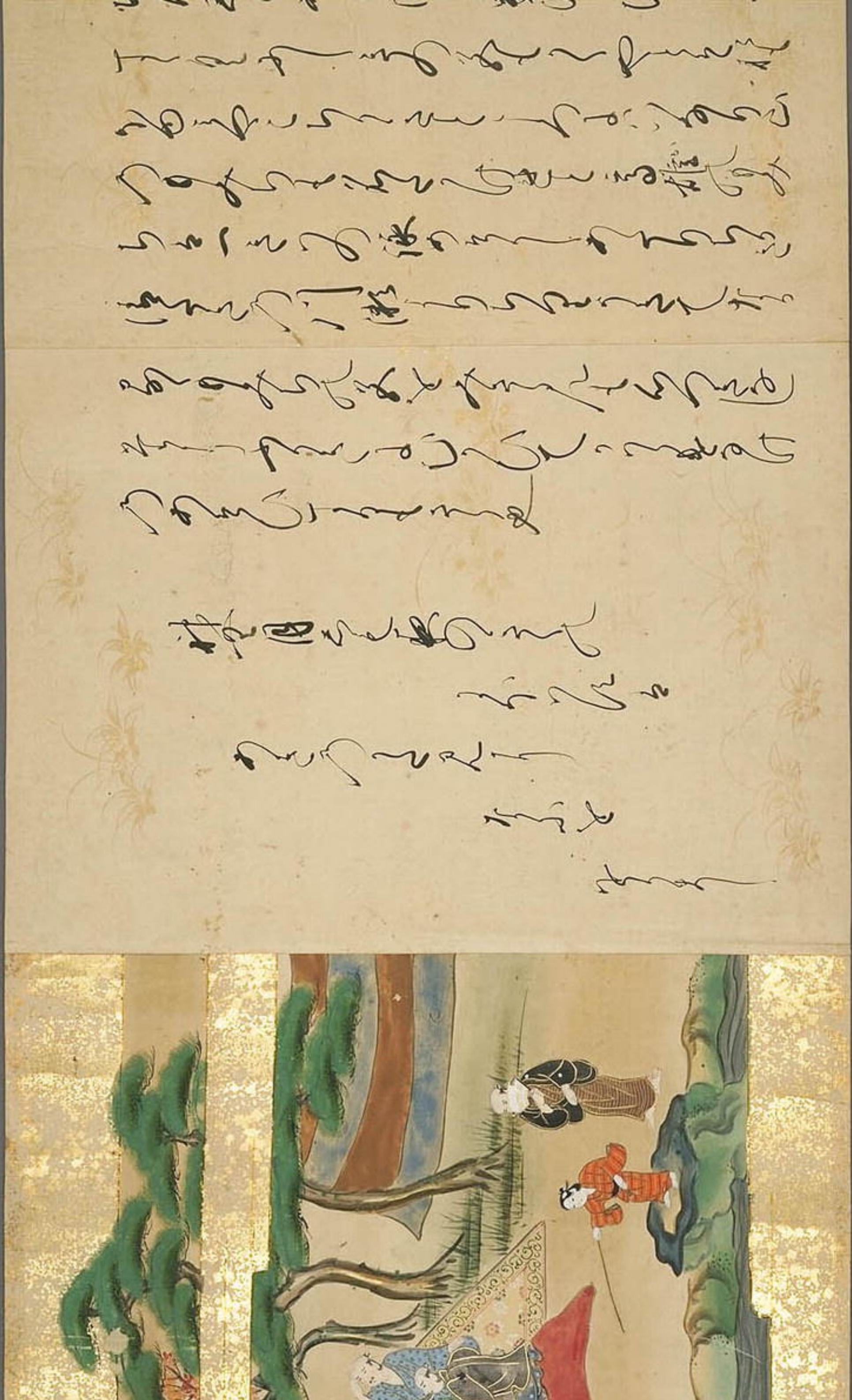
[illegible]



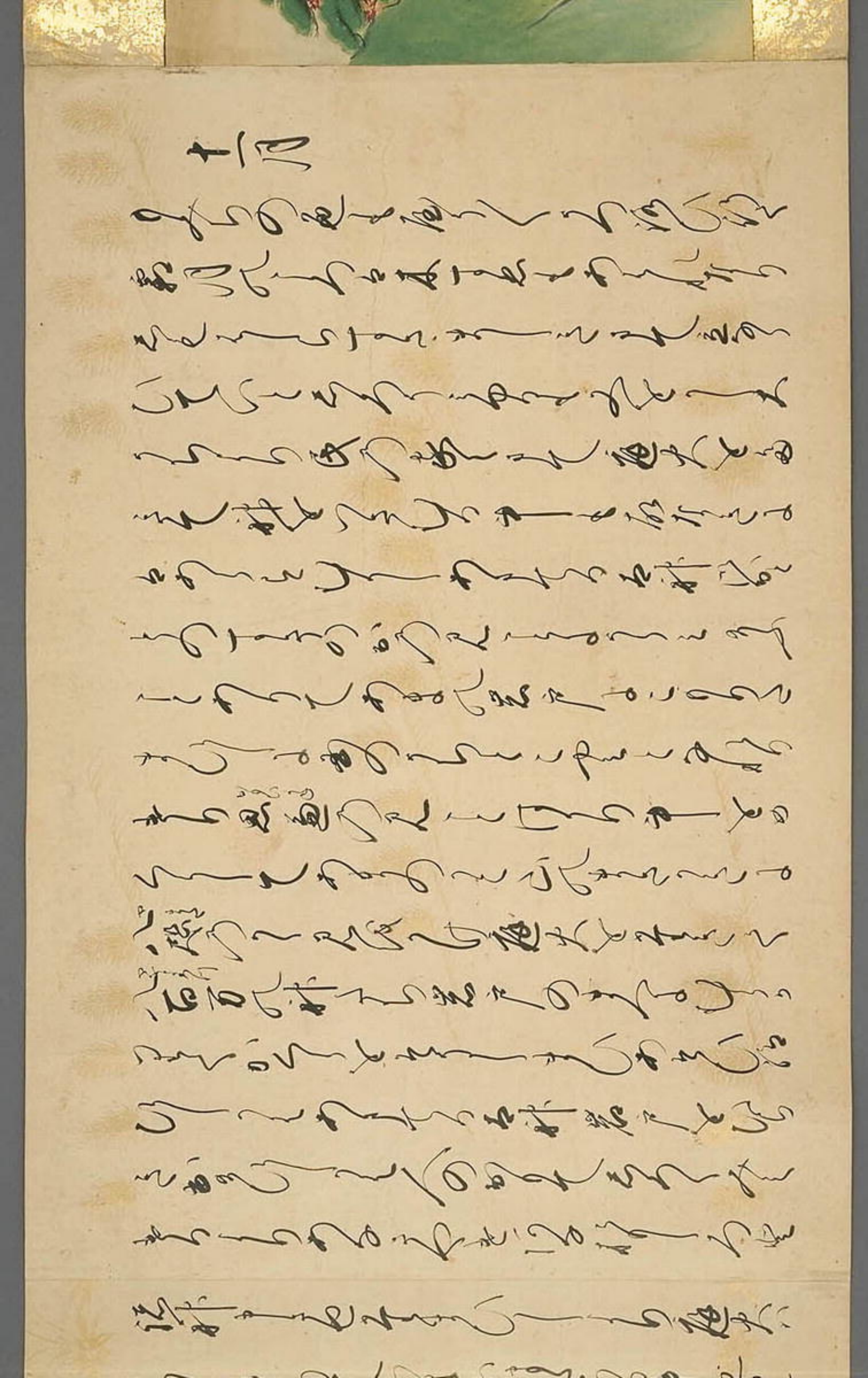


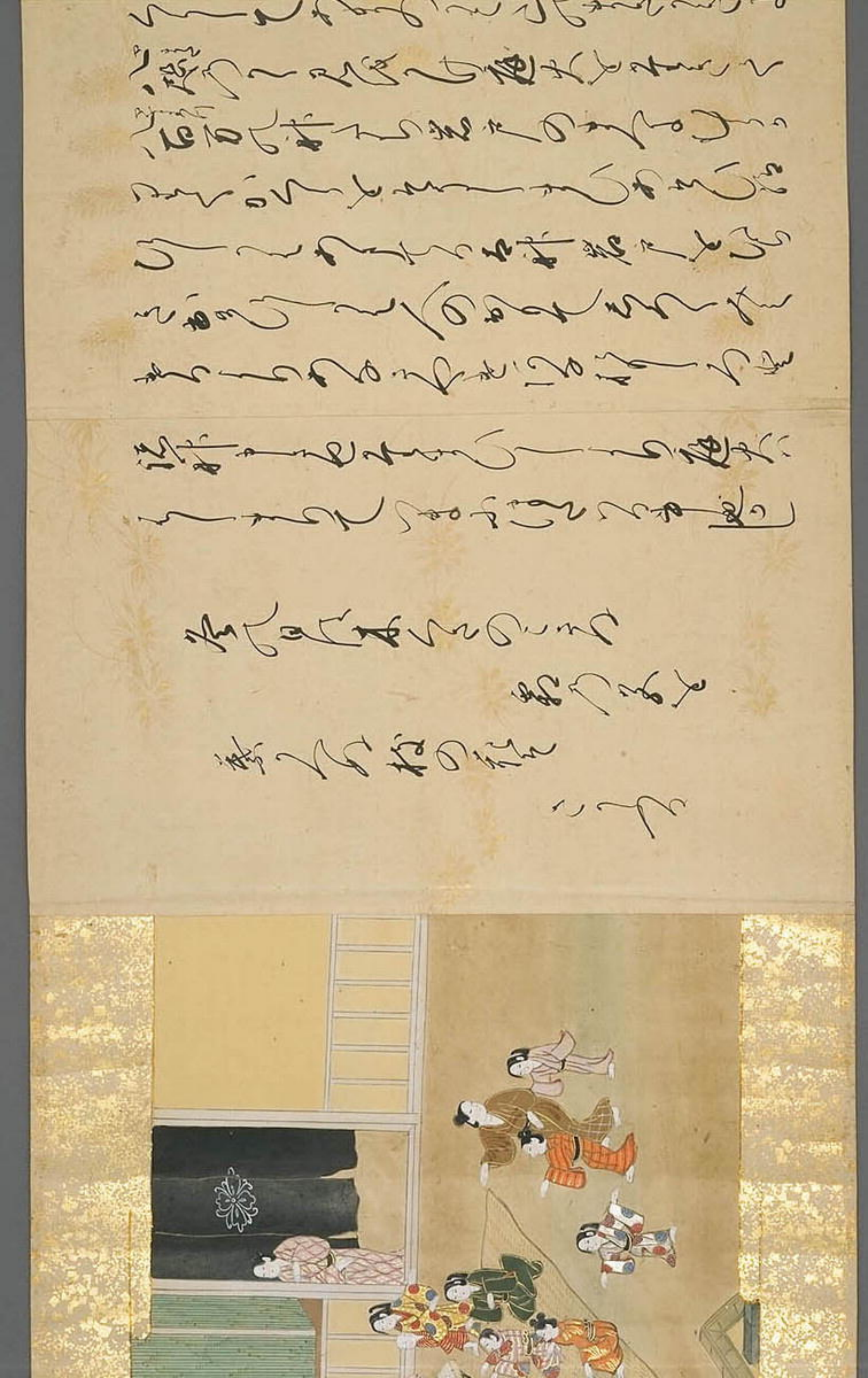
十月





十一月





十二月

十二月

月日ゆく色も暮て極月よくなりぬ
こと人の身も世のつとめしけるも
をいし見えすさましき松は十二月
の月夜のひえんくわすくうてむそう
夜の光もきえて見る人のすし
月のすそりてちぬきこんかうく
成りけるよくろ蓋のとさしりかう
くさ祥くあくらけるふすくかうら
のえまゝふて見めともみねよ町くハ
行人ゆく人こきくれめやとして門
の松ゆつり葉そらのちらかすつの礼
遠案しもくりよりて何もしてまうと
うしろつ見ぬからくしてぞあめ
さかさのふもますとうし年内営
て節季ゆといかとりそのて挽とふ
としのもありしのつそりうしさう
どりくのくるてしとにもおしのら
まち大はとおりつ歳いつまくて成り
そいまつひやりすしほこしにから

[illegible]

[illegible]

[illegible]